

スポーツ連盟とやま

# 富山ウォーキングクラブニュース

第97号 (2017年3月1日)

## 3月例会 伏木 八十八ヶ所霊場巡り・歴史散歩

**実施期日** 2017年3月12日(日) (前にお知らせしました3月例会の日程を19日(日)としていましたがいろいろな都合で1週間繰り上げました)

**集合時刻・場所** JR伏木駅、9:00 (車で参加の方は駐車場があります)

電車時刻表  
相乗り希望の方は ⇒

富山	小杉	大門	高岡		伏木
8:07	8:18	8:22	8:26	8:39	8:51
7:54	8:04				

相乗り希望の方は参加申込み時にお伝え下さい、小杉駅南口へ出て下さい。(1,040円/台を乗車人数で按分します)

**歩く距離** 約5.4Km (9,000歩)、2時間30分

**コースと概要** JR伏木駅⇒勝興寺⇒椿の小道⇒万葉 寺井の跡⇒正法寺 八十八ヶ所霊場⇒気多神社⇒国分寺跡⇒伏木本町公園(トイシ)⇒堀田善衛生家跡⇒魚取神社⇒玉川遊郭街跡⇒伏木会館(けんか山展示)⇒潤改所跡⇒棚田家⇒JR伏木駅(11:30頃着)

**持ち物 飲み物** 昼食は解散後各自。ウォーキングに適した服装と履き物、傘などの雨具。寒い時期ですので防寒対策を。

**参加費 交通費** 会員は200円、会員外の方は500円の参加費(いずれも保険料+資料代として)をいただきます。相乗りは会の規程によります。

**申込・問い合わせ先** 亀谷 美智子さん (Tel/Fax 0766-82-3715)

**申込み〆切** 3月9日(木)

**天候による催行可否** 注意報・警報が出ていない限り実施します



越中気多神社



寺井の井戸跡



魚取神社

# 富山湾岸ウォーキング3

JR伏木駅から射水市海竜町  
新湊大橋（東）交差点まで約1.2Kmを歩きます。

**実施期日** 2017年3月24日（金）

**集合時刻・場所** JR伏木駅、8:30（今回相乗りの設定はありません）

帰りの交通手段（海竜マリパークから小杉駅など最寄りの駅まで相乗り）については、手配します。

## 電車時刻表

富山	小杉	大門	高岡		伏木
7:40	7:51	7:55	7:58	8:07	8:21

**歩く距離** 約1.2Km

**コースと距離（累計距離）** JR伏木⇒如意の渡し像⇒伏木万葉大橋⇒中伏木⇒六渡寺⇒旧新湊漁港  
⇒放生津八幡宮⇒きとときと市場⇒新湊大橋⇒海竜マリパーク

**見どころ** 如意の渡し跡・放生津八幡宮・きとときと市場・新湊大橋

**昼食**は車で移動し「きとときと市場」で摂ります

**持ち物 飲み物** ウォーキングに適した服装と履き物、傘などの雨具。  
寒い時期ですので防寒対策を。

**参加費 交通費** 帰りの相乗りは会の規程によります。

会員は200円、会員外の方は500円の参加費（いずれも保険料+資料代として）をいただきます。

**申込・問い合わせ先** 林 憲彦さん（0766-82-6035）

**申込み〆切** 3月21日（火）

**天候による催行可否** 注意報・警報が出ていない限り実施します



如意の渡し像



放生津八幡宮



新湊大橋

きとときと市場



## 富山湾岸ウォーキング 2

(レポート)

氷見からのウォーキングでしたが、前回 JR 氷見駅手前の「番屋街」をゴールとしたため、私のこだわりから JR 氷見駅から前回ゴールの「番屋街」までの場さんに車で送ってもらい、9時スタート。



私の念力が途絶えたのか朝から小雨が降ってついにゴールまで止むことは無かったのは残念でした。

湾岸ウォーキングですので「出来るだけ海岸に近いルートを」と半分くらいは波打ち際を歩きました。

雨と波で砂はしまっていましたが大抵道路とは違い結構足にこたえました。

島尾海岸では富山大空襲の際、神通川で無くなった遺体がここに流れ着いたのを島尾の人々が手

厚く葬り記念の観音像を建てました。この観音様にお詣りし「平和」への誓いを新たにしました。

かって松並木から波打ち際まで砂浜が長くあった思

い出を語りながら雨晴へ、

女岩をそばに従えた義経岩へ。義経神社へお詣りし、記念写真の撮影。

伏木コンビナート近くの「伏木会館」で「けんかやま」を見物。

JR 伏木駅に到着したのは予定どおりの12時30分。

線路脇の「ラーメン」の看板につられ入った店は「食材がない」とのことで店の女将の紹介で近くの「食堂」でランチ。3月例会のランチを楽しみに解散しました。



4月例会は

阿尾城跡&朝日山で花見の跡、ランチを兼ねて  
2017年の総会を行います

## 打合会の議事録

12月27日、特別企画の「旧加越線ウォーキング2」の後、昼食を摂りながら4月以降の例会の相談をしました。以下は大まかな議事録です。

5月…増山城跡周辺巡り（砺波市のイベントに参加するも独自企画も考える） 担当 甲

6月…6/3（土）に開催される「名水巡りウォーキング」に便乗する

6月…6/18 深海さんにコースの作成をお願いする

7月…7/7（金）・7/8（土） 昨年行った1泊2日のウォーキング

大野と勝山のウォーキング、出来れば石川・福井と交流を行う。

9月…9/30・10/1 全国ウォーキング交流集会 伊豆半島

その他 コースとしては獅子吼高原・数河高原・常願寺川公園

また、例会は原則毎月第3日曜日に行うこととし、8/20、9/17、10/15、11/9を予定しています。

## 今後の例会予定

実施日	ウォーキングコース	担当
1月8日（日）	初詣（大川寺三十三観音・雄山神社）	林
3月19日（日）	伏木八十八カ所巡り	亀谷
4月9日（日）	氷見朝日山・花見・総会	

参考 3月実施予定の富山湾岸ウォーキング

JR 伏木⇒六渡寺(3.02)⇒新湊西漁港(6.21)⇒新湊漁港(7.49)⇒新湊きつときと市場(8.32)⇒あいの風プロムナード越の瀧(9.66)⇒あいのかぜプロムナード堀岡(10.14)⇒きつときと市場(11.96)

## 大空襲の犠牲者 氷見海岸にも流れ着く

カテゴリー： [県内団体の催し](#) , [富山市](#) [富山県](#) [氷見市](#)

1945年8月2日未明、アメリカ軍のB29爆撃機174機が富山市上空に飛来し、1,320トンの焼夷弾と小型爆弾を投下しました。

この空襲で、当時の市街地の99.5%が焼失。約3,000人が死亡し8,000人が負傷するという地方都市では最大規模の被害を出しました。

8月1日が米陸軍航空部隊の創設記念日で、カーチス・ルメイ司令官の昇格祝いとしての最大の無差別爆撃の標的となったことや、事前に投下された予告ビラが周知されることなく行政に回収され、空襲中、逃げようとする住民を憲兵と警防団員らが押しとどめたことが最大の被害につながりました。

空襲を受けて、市民は神通川に逃げ込みましたが、そこで多数の人が亡くなりました。

犠牲者の遺体は、神通川の河口から直線距離で30km以上離れた氷見市の島尾海岸にまで流れ着きました。なかには、赤ちゃんを胸に抱いた若い母親や、手をしばり合わせた寝間着姿の12、13歳の姉と6、7歳の弟の遺体もあったといえます。

住民は流れ着いた遺体を近くの松の根元に葬り、毎年8月1日に野花を供えて供養してきました。1975年8月12日には、募金で慰霊のための地蔵尊を建立。その後は、島尾自治会の主催で毎年8月12日9時から、高岡市の国泰寺の管長を招いて法要を行っています。最近では地域の子どもたちも参加。法要後、公民館で世話役の人が、大空襲の体験記を読み聞かせています。

日本への原爆投下を計画していたアメリカは、投下候補地の新潟、広島、京都、小倉以外の全国49カ所に長崎型原爆と重さと形が同じ模擬爆弾も投下しました。

県歴史教育者協議会の松浦晴芳さんは、「最近の政治では、戦争を美化したり隠したりする動きがあるなか、戦争の真実に向き合わなければ同じ過ちを繰り返す恐れがある。偏ることなく戦争を見つめることが大事」だと話します。

如意の渡しとは、小矢部川河口にある渡し船のことです。

左岸の高岡市伏木と右岸の射水市六渡寺（中伏木）とを結びますが、歴史はかなり古いようです。

というのも、源義経が弁慶と共に、この渡し船に乗った記録が『義経記』にあるのです。



渡しにある義経と弁慶の銅像

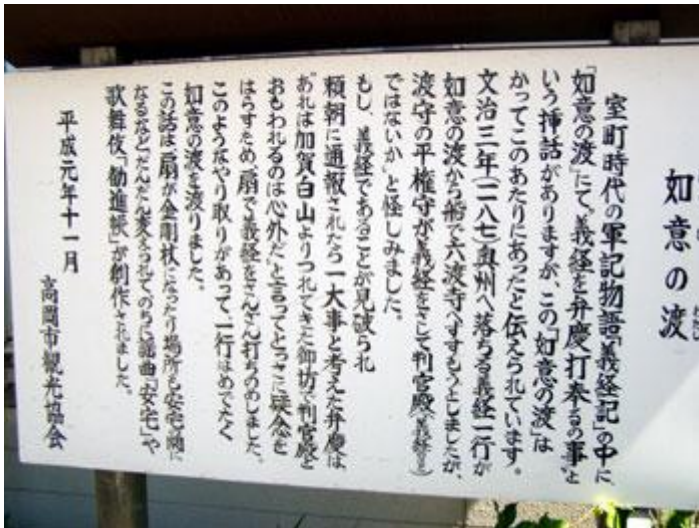
兄頼朝に追われて東北へ落ち延びる途中、変装しているものの「義経ではないか」と船着き場の役人に疑われました。弁慶はとっさに「こいつは加賀白山よりつれてきた坊主だ。義経などと間違われては迷惑千万」と叫び、主君義経を扇でさんざん打ちのめした。その様を見た役人は疑いを晴らし、船に乗ることができたといいます。



弁慶が扇でめった打ちです。「ビシビシ」音が伝わってくるようです。

この話を元に創作されたのが有名な「勧進帳」と言われ、場所も石川県の安宅の関に移ってしまいました。

つまり有名な勧進帳のエピソードは、実はここ高岡市にあった、というのです。



渡しにある案内板

ところで、地元に残る「如意の渡し」の伝承はこれだけではありません。

実は、この義経の話より22年後（承元元年（1207））になりますが、越後流刑となった親鸞聖人が、この渡しを通った記録があります。

おそらく流刑人として越中国府で通過の確認を受けたのだろうと推測されます。

『伝説とやま』によると、渡しの船頭の源平・源助兄弟が親鸞聖人の弟子になったとあります。



現在でも渡し船が行き来しています。

親鸞聖人が乗船中、船頭の源平・源助兄弟は、親鸞聖人の体から水中へ光が輝いているように感じました。不思議に思って、2人は自宅に親鸞聖人を招き、教えを求めます。

親鸞聖人は「他力の三心とは、至心・信楽・欲生にして、すなわち三心とはいえども、行者帰命の一心である」と懇ろに説き、二人は感激して「帰命尽十方無碍光如来」の名号を下附していただいた、とのことでした。

さらに源平は「勝光坊」と法名を受け、射水市（旧新湊市）の勝光寺を開いたと言われます。

この話は、勸進帳があまりに有名な為に歴史上ではかき消されている感がありますが、浄土真宗の勝興寺がある土地としては、実に有り難い話ですね。

さて、この如意の渡し船も、いつまでも存続するものではなさそうです。

写真を見ての通り、新伏木港大橋が建設中で、これが開通すれば、渡しも廃止になると思われます。

富山湾岸ウォーキング おおよその歩行距離

- 脇（県境）→氷見番屋街 14 Km
- 伏木 12.6 Km
- 海竜町「サザン」 12 Km
  
- 海岸通り 12 Km
- 滑川・道の駅 10.5 Km
- 経田漁港 12.7 Km
- 黒部川西橋詰 10.5 Km
- 赤川橋爪（泊） 12.7 Km
- 境川橋爪（県境） 8.5 Km

**コースと距離(累計距離)** JR氷見⇒番屋街(1.89)⇒氷見海浜植物園(5.43)⇒島尾海水浴場(5.89)⇒富山大空襲慰霊地蔵(6.92)⇒松田枝浜(7.11)⇒JR雨晴(9.39)⇒義経岩(9.84)⇒JR越中国分(11.36)⇒義経記如意の渡し像(13.78)⇒JR伏木駅(14.09)

- JR氷見⇒番屋街(1.89) 9時
- ⇒氷見海浜植物園(5.43) 1時間22分 10時22分
- ⇒島尾海水浴場(5.89) 1時間28分 10時28分
- ⇒富山大空襲慰霊地蔵(6.92) 1時間45分 10時45分
- ⇒松田枝浜(7.11)⇒ 1時間47分 10時47分
- JR雨晴(9.39)⇒ 2時間20分 11時20分
- 義経岩(9.84)⇒J 2時間28分 11時28分
- R越中国分(11.36)⇒ 2時間50分 11時50分
- 義経記如意の渡し像(13.78)⇒ 3時間27分 12時27分
- R伏木駅(14.09) 3時間31分 12時31分

JR氷見	10:22
島尾	10:26
雨晴	10:30
伏木	10:3